

公共事業の効果等について

【事業名、地区名、事業概要】

事業名：重要港湾改修事業
路線名又は箇所名：伊万里港 七ツ島地区
事業の概要
工期：平成19年度～平成24年度
事業費：622,400千円
事業内容：岸壁（水深9m） $L = 36\text{m}$
泊地（水深9m） $V = 30,000\text{m}^3$

【公共事業の効果等】

複数船舶の同時着岸が可能になった。
連続2バースの運用が可能となり、滞船（沖待ち）が解消し、海上交通の混雑が緩和された。

【事業実施前の状況等】

コンテナ貨物取扱岸壁が1バースしかないため、コンテナ船の滞船（沖待ち）が発生し、貨物輸送の定時性確保に支障が生じていた。
平成9年に国際定期コンテナ船が開港されて以来、コンテナ貨物量は平成18年迄順調に増加し、既存岸壁延長では対応が困難となっており、荷主にとって非効率な貨物輸送形態となっていた。

【事業実施後の状況】

国直轄事業による水深13m岸壁と航路・泊地の整備と一体的に取り組んだ結果、複数船舶の同時着岸が可能となった。
ふ頭用地が一体化されたことにより、荷役作業時間が短縮され、コンテナ作業の効率化が図られた。
荷役作業時間が短縮されたことで、荷役作業中の船舶の係留時間が短縮され、併せて、運航スケジュール全体の時間短縮にも繋がり、総じてコスト縮減に結びつくこととなる。
平成25年6月現在で週4航路4便であったのが、現在では週5航路7便と増便することで、荷主にとって大きく利便性が向上している。
これらの施設整備によるコンテナの輸送効率向上及びポートセールスにより、伊万里港におけるコンテナ取扱量は三年連続で過去最高を記録更新している。

【県民の声など】

荷役効率が向上したことにより、荷役作業の短縮および安全性が向上した。